

速報

体験林業

『大山のブナの苗木を皆の手で育てよう』



11月14日(日)、伯耆町丸山ガーデンプレイス上の広場で、県内外から集まった83人の参加者が、5~15cm位に成長したブナの稚魚を2400本移植しました。ここで5年間かけて1..5mまで育てます。

今まで苗床の土が悪いのと今年の猛暑の試練に会い、8,000本誕生したもののが2,400本までに減少し、しかも生育もかわいそうなぐらいた貧弱です。

今回の移植に際して、伯耆町の計らいで、良質の黒ボクを4トンダンプ10台入れて土壤改良をしました。また、苗床作り、苗抜取りの準備作業を入念に行い、丸々2日間かかりました。これでブナが来春から元気よく成長してくれるでしょう。

関係した皆さん ご苦労さまでした。これからもブナを見守つ持つください。

主催：大山横手道上ブナを育成する会

技術指導：鳥取森林管理署

特別支援：みんなで森を守ろう！

山陰ネットワーク会議

みんなでを守ろう！

連合 愛のカンパ

後援 :

伯耆町



準備作業

今回は人手が少なく、特定の人間に連日頑張ってもらいました。

